

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年9月4日

【評価実施概要】

事業所番号	1170500589
法人名	NPO法人さわやか福祉の会きらりびとみやしろ
事業所名	グループホーム喜楽里
所在地	345-0804 埼玉県南埼玉郡宮代町川端-8-25 (電話) 0480-36-2173

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年9月1日

【情報提供票より】(平成20年8月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年3月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 12人, 非常勤 5人, 常勤換算	13.7 人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り
	2階建ての1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	28,000円 + 実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	350 円
	夕食	600 円	おやつ	100 円
	または1日あたり 円			

(4) 利用者の概要(8月15日現在)

利用者人数	17 名	男性	5 名	女性	12 名
要介護1	3 名	要介護2	7 名		
要介護3	3 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.9 歳	最低	76 歳	最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	今井病院、公設宮代福祉医療センター、姫宮歯科医院
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、NPO法人が設立した事業所であり、「困ったときはお互いさま」をモットーに子供からお年寄りまで気軽に交流できる温かな地域づくりを目指している。介護保険制度以外のサービスも組み合わせながら、利用者の安全・安心を第一に考え、心のこもったケアを大切に考えて支援している。2つのユニットはそれぞれ独立しているが交流できるようになっており、共有スペースのキッチンでは職員と利用者が談笑しながら調理や片付けを共に行い、和やかな落ち着いた雰囲気の中で暮らしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価結果については職員全体会議やユニット会議等で話し合い、職員全員の共通理解のもと取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で自己評価に取り組み作成している。職員は各自の業務を振り返る良い機会と考えており、今後の改善課題についても積極的に取り組む意欲がみられる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>地域ボランティアのNPO法人のため、地元の方も含めた役員会が2か月に1回行われている。そのため、運営推進会議は年間2回の開催にとどまっている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>運営推進会議に家族の代表の参加も得て意見を出してもらうようにしている。意見箱の設置はしているが殆んど利用されていないため、家族が来訪した際には管理者等が面接し、意見や要望を聞くようにしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域ボランティア組織のNPO法人であるため地域との結びつきは強く、自治会にも加入して地域との積極的な交流が行われているほか、介護保険制度外のサービスでも地域の人々との触れ合いを積極的に行っている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域ボランティア組織のNPO法人であり、「困ったときはお互いさま」をスローガンとして、住民同士が助け合って生活する地域づくりを理念としている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は常に理念を意識しており、その理念をケアの実践にどのように活かしていけば良いかを具体的事例をもとに話し合い、共有化を図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、地域のイベントや行事、祭りなどには積極的に参加をしている。また、ホームのクリスマスの行事などには地域の人々を招待して交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果については、職員会議やユニット会議で話し合いをしており、ホーム全体で取り組んでいる。自己評価についても全職員で項目を検討し、各自が自分の業務を振り返る良い機会となっている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	NPO法人であるため、地元の人も含めた役員会を2か月に1度開いている。そのため、運営推進会議は年2回程度の開催にとどまっている。		運営推進会議は、ホームの運営をしていく上で幅広い立場の人に意見を出してもらい、サービスの質の確保を図るものであるため、法人役員会とは別に、年6回程度を目標にした定期的な開催が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域のNPO法人として、町から事業の委託を受けたりしており、連携を密に図っている。また、ホームの入居や保険の問題等の相談をするなど必要に応じて状況を伝え、サービスの向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月1回の金銭管理の報告と一緒に、利用者個々の生活状況等を手紙で知らせている。また、面会時には、職員が極力利用者の健康状態や暮らしぶりを伝えるようにしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議には家族代表が出席しており、意見をいただいている。会議内で意見箱を設置しているが殆んど利用が無いため、家族等の来訪時には、職員が必ず面談して意見や要望を聞いている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	以前、各ユニットの職員の入れ替えを行った際に不安定になった利用者もいたことから、異動のある場合には個別に対応をしてダメージを防ぐように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員会議やユニット会議等を利用して内部研修を行う他、法人全体でも研修を行っている。また、外部研修としては、社会福祉協議会や地区協議会の研修に参加している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に加入しており、地域ごとの研修会に参加してサービスの質の向上に努めている。今後は他のホームの見学等、相互交流も行っていきたい意向である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に本人や家族に事業所の見学に来てもらうことから始め、その後、自宅に訪問して職員と顔馴染みの関係になる過程を大切にしている。体験入居のケースはないが、デイサービスの利用を経て入居している方はいる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者一人ひとりが得意なことや好きなことをできるように支援している。また、畑仕事や調理などを一緒に行いながら教えてもらうことも多く、共に支え合い生活するという考えのもと支援している。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居前はもとより入居後も、本人や家族の意向を十分に聞いている。また、利用者の日頃の会話や行動からも思いを汲み取るように心掛け、職員間で情報を共有化して本人の意向の実現に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎月のミーティングや会議の中でケース会議やカンファレンスを実施し、本人や家族の意向も聞き、取り入れながら適正な介護計画の作成に努めている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6か月に1回の介護計画の見直しをするとともに、3か月に1回のモニタリングの確認を行い、本人や家族に同意してもらっている。また、状態の変化により、緊急に対応したような場合にも新しく介護計画を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院や外出等の要望には、職員の勤務体制を工夫して柔軟に対応している。また、デイサービスのイベントやふれあいサロンへの参加を呼びかけ、日々の暮らしの充実に努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者が以前から受診している医師を主治医としている。通院には、家族もしくは職員が付き添い、主治医との連携に十分配慮しながら関係を築いている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用開始時点で看取り等が困難であることは家族にも了解していただいている。現在、重度化への対応は困難な状態にある一方、ホームで終末期を迎えたい意思のある利用者が増えてきた際には、本人の思いに添えたい意向であり、検討はこれからである。		利用者や家族がより安心してサービスを利用できるように、関係者も含めて話し合いを重ね、事業所としての終末期へ向けた対応の方針を検討していられることが期待される。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への言葉かけや態度が利用者の尊厳を傷つけることのないように支援している。また、記録等については、利用者の前では記入しないなど、個人情報の取り扱いには注意を払っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	午前中に散歩を行い午後に入浴する等の基本的な流れはあるが強制はせず、利用者からの希望があればできるだけ叶えられるよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	町の販売所から食材を仕入れており、その業者の管理栄養士と協議しながら献立を作成している。職員と利用者が調理や片付けなど一連の作業と一緒に和気あいあいと行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は設定せず、利用者から希望があればいつでも入浴できるようになっており、職員は必要に応じて見守りや介助を行っている。時折、併設のデイサービスの広い浴室を利用することもある。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は、畑仕事、編み物、植物の世話、新聞を読むなど利用者の望んでいる生活を大切にして支援している。毎日、皆で歌を歌うユニットもあり、利用者の楽しみごとや気晴らしとなるように働きかけをしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には必ず近所の散歩に出掛けている。その他、季節ごとの花見、ドライブ、遠出の買い物等にも出かけ、できるだけ利用者色々なことを体験してもらえよう支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアを実践してきたが、利用者の状態が不安定なユニットがあり、止むなく鍵を付けている状態が続いている。		最近是不安定だった利用者も落ち着いているとのことなので、見直しをする良い機会と捉え、今後のケアのあり方と職員の見守り等について話し合い、施錠しないケアの確立を目指していかれることが期待される。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回、消防署の指導のもと避難訓練を実施している。法人全体としては、地震、水害等に備えた防災用品倉庫を設置している。		地元自治会に声かけをするなどして避難訓練に参加してもらい、地域との協力体制を整えていくことが望まれる。また、避難、消火、救急を含めた災害訓練の実施も期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日食事と水分の摂取量を業務日誌に記入して管理している。水分量の不足しがちな利用者には好みの代替品を提供したり、声かけをして水分を摂ってもらうなど工夫して支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やホールには季節の草花や植木、利用者の作成した飾りを置くなどして温かい雰囲気づくりを心掛けています。また、共用空間にはソファを置いたり、廊下の奥にベンチを置いて、利用者が個々に寛げるような工夫をしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室への持ち込みや飾りつけは自由となっており、利用者の使い慣れた家具、カーペット、思い出の品等が持ち込まれ、それぞれ利用者の個性にあった居心地の良い空間となっている。		